

1. 科目名 (単位数)	精神保健学 / 精神保健学 (中等) (2 単位)	3. 科目番号	EDHE2303
2. 授業担当教員	澤田 晋一		
4. 授業形態	講義、プレゼンテーション、ディスカッション、レスポンスシート	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	養護教諭として求められる「乳幼児から老年期までの各ライフステージにおける精神保健」、「精神保健における個別課題 (家庭・学校・地域・職場・司法精神保健など)」、「精神保健に関する法制度・行政のしくみ」「世界の精神保健事情」についての最新事情を学び、将来の自身のあり方を選択することに役立てる。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「養護教諭」として必要な精神保健学の知識を身につける。 ・精神保健の最新事情を知り、学校現場における「精神保健」の意義や課題について考える。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	講義で取り上げた項目や学生の関心事項の中から、選択してレポートを作成し提出する。詳細は授業で説明する。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 『第6版 精神保健福祉士養成セミナー2 精神保健学—精神保健の課題と支援』へるす出版。</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 『新・精神保健福祉士養成講座1 精神疾患とその治療』中央法規。 東京福祉大学編『社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ライフサイクルにおける精神保健について理解しているかどうか。 2、障害に対する理解をしているかどうか。 3、精神保健福祉の個別課題に対し、理解しているかどうか。 4、我が国と諸外国の精神保健を理解しているかどうか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、積極的参加度 (毎回の提出物、授業への積極的参加度) 50%、 2、課題レポート、プレゼンテーション 10%、 3、復習テスト (2回実施) の総計点数 40% <p>以上の結果を総合的に判断する。 なお、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>精神保健は、過去・現在そして将来、あなた自身を見つめ、把握し、自身を守るスキルになります。自分の個体生存のためにも今学んでいるという視点をもってください。講義は、教科書の内容に沿って進めますが、必要に応じて関連する最新トピックスについて配布資料を追加したり、視覚教材を使用する予定です。</p> <p>なお、授業中の私語、携帯電話の使用を禁止します。</p>		
13. オフィスアワー	授業終了後の空き時間。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、オリエンテーション、ストレスと脳	事前学習	教科書 pp. 1～16 を読んでくる。
		事後学習	ストレスについての配布プリントの復習。
第2回	ライフサイクルにおける精神保健、乳幼児期	事前学習	教科書 pp. 17～24 を読んでくる。
		事後学習	乳幼児期についての配布プリントの復習。発達段階別の特徴 (教科書 p. 45 表 2-4) をいつも見ることができるようにしておく。
第3回	ライフサイクルにおける精神保健、学童期	事前学習	教科書 pp. 24～32 を読んでくる。
		事後学習	学童期について教科書の復習。
第4回	ライフサイクルにおける精神保健、思春期、青年期	事前学習	教科書 pp. 33～50 を読んでくる。
		事後学習	思春期/青年期について教科書の復習。自我同一性の拡散 (教科書 p. 46) について振り返る。
第5回	ライフサイクルにおける精神保健、(青年期に発症する) 統合失調症、わが国の精神障害者対策	事前学習	教科書 pp. 71～81 を読んでくる。
		事後学習	青年期の精神障害について教科書の復習。
第6回	ライフサイクルにおける精神保健、成人期、老年期、うつ病、認知症について	事前学習	教科書 pp. 50～69、pp. 82～92 を読んでくる。
		事後学習	成人期/老年期について教科書の復習。
第7回	障害者 (児) の精神保健、てんかん、知的障害について	事前学習	障害にはどのような種類があるのか、調べてみる。
		事後学習	障害者 (児) について教科書の復習。
第8回	成人の発達障害 (アスペルガー障害、ADHD)、老年の認知症 (皮質性、皮質下性) と、その対策について	事前学習	発達障害や認知症にはどのような種類があり、どのような対策がなされているのか調べてみる。
		事後学習	教科書の復習。成人の発達障害や認知症が社会問題となっている、昨今の社会背景について考えてみる。
第9回	アルコール関連問題対策、薬物乱用防止対策について	事前学習	教科書 pp. 92～127 を読んでくる。
		事後学習	薬物について教科書の復習。

第10回	思春期（青年期）の精神保健対策 （オーバードーズを中心に）	事前学習	教科書 pp. 130～136 を読んでくる。
		事後学習	教科書の復習。 自我同一性の拡散（教科書 p. 46）と確立（教科書 p. 47） について振り返ってみる。
第11回	家庭における精神保健 （児童虐待を中心に）	事前学習	教科書 pp. 181～190 を読んでくる。
		事後学習	児童虐待について教科書の復習。
第12回	職場・学校における精神保健 （児童相談所の職場環境を中心に）	事前学習	教科書 pp. 191～200、pp. 200～211 を読んでくる。
		事後学習	児童相談所について教科書の復習。
第13回	地域における精神保健 （保健福祉活動における具体的な技術など）	事前学習	教科書 pp. 136～164 を読んでくる。
		事後学習	保健福祉活動について教科書の復習。
第14回	まとめ（その1）、 うつ病と自殺対策、 わが国の「こころの健康づくり」について	事前学習	教科書 pp. 200～211、pp. 277～285 を読んでくる。
		事後学習	教科書の復習。 自殺対策には何が必要なのか、身の回りの事柄から 考えてみる。
第15回	まとめ（その2）、 世界的にみた精神保健の流れ	事前学習	教科書 pp. 307～328 を読んでくる。
		事後学習	教科書の復習。 日本の精神医療、精神保健の現状から、日本人の特性 について考えてみる。
期末試験			